

研究の全体構造図

【学校教育目標】
「夢をいだき 未来をひらく 江別第一小の子ども」
○思いやりを持ち 助け合う子
○すすんで学び よく考える子
○ねばり強く やりぬく子
○心もからだも たくましい子

研究主題

いきいきと学び合う子どもの育成

～わかる・楽しい授業を通して～

<算数科でめざす児童像>

- ☆課題に対して、粘り強く取り組む児童
- ☆自分の考えをもち、いきいきと表現する児童
- ☆算数的な活動の楽しさやよさを感じ取れる児童

授業改善・授業力向上

展開につながる導入部分の工夫

- ・教科書の問題をもとに、実態を考慮した問題提示の工夫
- ・主発問や補助発問の工夫
- ・興味関心を高めるしかけの工夫

主体的・対話的な学びの充実

- ・ペア、グループ交流の学習形態の工夫、意図的な位置づけ
- ・ブロックごとの系統性ある指導
- ・つなぎ言葉、まつだの活用
- ・全体交流での教師のコーディネート力の向上

「聞く」「話す」の
系統的指導

第一小スタイルの確立
(企画管理部と連携)

習熟度別・少人数指導
(個に応じた指導の充実)

見通しをもった単元指導計画

- ・「知識・技能」と「思考力、判断力、表現力等」を高める授業の明確化

ノート指導、板書構成の工夫

- ・ノートの基本形の指導
(学年に応じたノート作り)
- ・板書構成の工夫
(児童の思考の流れを整理する。)

学習規律づくり

学習環境づくり

学級づくり

家庭学習の充実

基礎基本の定着

自己肯定感を育む児童理解

言語活動の充実